

NAGASAKI UNIVERSITY



長崎大学大学院

経済学研究科

Graduate School of Economics

概要 2024

変化の中に普遍を 求める醍醐味



現在、日本は、少子高齢化、労働人口の減少、地域間格差、社会保障費の膨張など種々の課題に直面しています。目を世界に転じれば、グローバリズムとナショナリズムの拮抗、格差や貧困の拡大、国や地域または世代間の対立なども看過できない局面にあります。これら事象は、これまで当然視されていた社会システムや国民経済への懐疑をもたらすだけでなく、社会厚生とは何か、そもそも世界は何を追求していくべきなのか、といった根本的な問いを投げかけてきます。変転極まりない現代社会において、私達は自らが置かれている状況を的確に把握・分析し、取るべき戦略、進むべき方向性を見出す能力をもたねばなりません。

経済学・経営学が考察対象とする社会とは、異なる価値観・倫理観を持つ個人の営為の集合体です。それは物質とは異なり、捉えどころのない曖昧な存在かもしれません。しかし私たちは科学的方法論を用いることによって、曖昧な存在についても普遍的な理解＝理論を得ることができ、それをもとに個別課題に対する実践的解決策を導くことができます。倫理・理論・実践の三位一体を具現化した知識の体系が経済学であり経営学です。

長崎大学大学院経済学研究科は、平成7年（1995年）の設立以来、九州に立地する数少ない社会科学系大学院として多くの修了生を輩出してきました。修了生は実業界・官界のリーダーとして内外を問わず幅広く活躍しています。特筆すべきは、地域実業界や自治体での活躍を通して、中小企業支援、町おこし・島おこし、観光振興などの長崎固有の課題解決にその能力を発揮していることでしょう。また留学生の多くは修了後、母国と日本の友好親善等に活躍しています。

本研究科に設置されている博士前期課程経済経営政策専攻と博士後期課程経営意思決定専攻は、日常の背後にある社会や経済の問題を的確に捉え、その本質を追究する研究能力、問題解決能力、科学的かつ理論的根拠に裏打ちされた意思決定能力を身につけた人材を養成することを目的としています。世界の未来を担う熱意あふれる多くの皆さんが本研究科で学び、またともに経済及び経営の研究に携われることを願っております。

長崎大学大学院
経済学研究科長
教授

宍倉 学
Shishikura Manabu

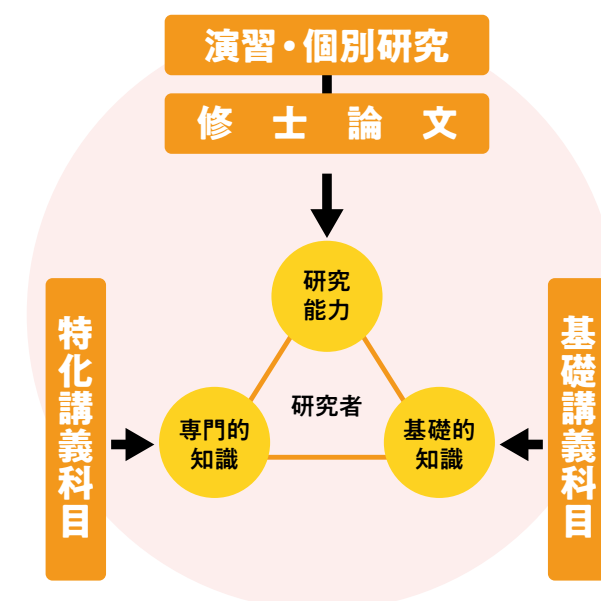
contents

- P01 あいさつ
- P03 博士前期課程 研究コース
- P05 博士前期課程 経営学修士コース
- P07 博士前期課程 カリキュラム
- P09 博士後期課程
- P10 博士後期課程 カリキュラム

- P12 入試情報
- P13 年間スケジュール
- P15 先輩からのメッセージ
- P17 研究環境
- P18 所在地および交通案内

本研究科博士前期課程の標準的な履修スケジュールと方法は以下の通りですが、研究コース・経営学修士コースに適用される

- ・基礎講義科目（8単位）では、講義形式によって現代の経済・経営課題を分析するための基礎知識を修得します。
- ・特化講義科目（12単位）では、講義形式に加え、ディスカッションや報告などのアクティブラーニング、調査などのフィールドワーク等、科目の特徴に応じた多様な授業形式によって、現代の経済・経営課題を分析だけでなく、実践的な解を提示するための専門的知識を修得します。長期履修制度、経営学修士コースの夜間・土曜日開講という特徴も有しています。
- ・演習（修士論文）（10単位）では、指導教員や必要に応じて配置される指導教員とは専門分野の異なる副指導教員による指導の下で、経済・経営課題の分析や実践的な解の提示を含む総合的・学際的な視点から研究できる能力を身に付けます。



PENG XINQI
ホウ シンギ

Student's Voice

私は、古着リサイクルの現状と課題を本格的に研究したかったため、長崎大学大学院経済学研究科に進学することを決めました。進学前は様々な不安や心配がありましたが、進学後は指導教員をはじめとする研究科の先生方が親身になって対応してくださったので、次第に不安や心配は払しょくされていきました。学生生活については、週1回のゼミに参加したり、空き時間には授業で課される発表の準備などをしたりします。また、研究科のカリキュラムは開講科目が非常に豊富で、先生が一方向的にアウトプットするだけの科目ばかりではありません。それぞれ異なる学問分野の先生や院生が集まり、自分の学問の立場から自由に意見を交わすことができる授業が展開されています。研究科で大学院生活を送ることができて良かったと感じています。

● 時間割の例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1校時					
2校時					
3校時	応用ミクロ経済学特講	開発経済学特講		公共経済学特講	経済政策特講
4校時			演習		
5校時					
6校時			経済史特講		
7校時					



博士前期課程

研究コース

研究コースでは、特定の専門領域や問題分野において、幅広い体系的知識とそれに基づく応用力（思考力、技法）をもって深遠な問題を追究する研究能力を有する者を育成します。

特徴・概要

●カリキュラム・ポリシー

研究コースでは、基礎知識を学ぶ基礎講義科目、多様な専門的知識を学ぶ特化講義科目、修士論文を作成する演習を設置し、各々の問題意識に応じて研究を遂行できるカリキュラムを編成しています。

●学位審査基準

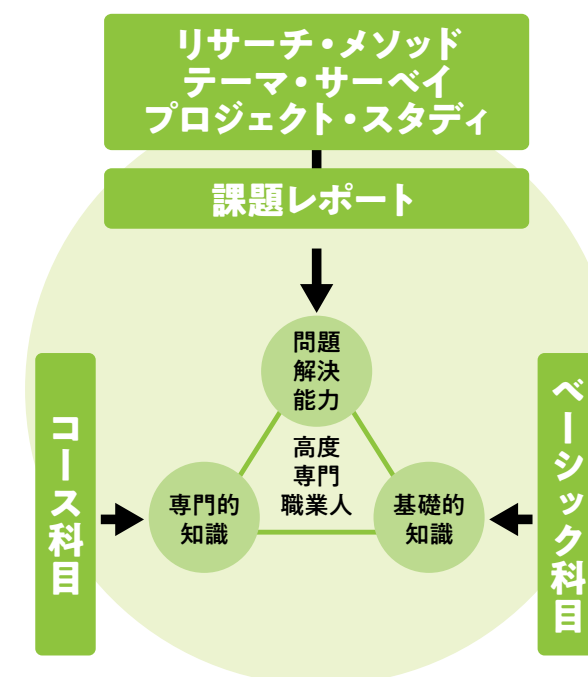
研究コースの学位論文の審査は、修士論文によって行います。修士論文には、タイトルに即し、一貫した視点の下で、先行研究の整理から考察結果に至る論旨を展開する論文としての総合性が求められます。そのため、修士論文の審査においては、次に示す基本要件の観点から評価を行います。

博士前期課程

経営学修士コース

経営学修士コースでは、特定の専門領域や問題分野において、幅広い体系的知識とそれに基づく応用力（思考力、技法）をもって実践的問題解決能力を有する者を育成します。

- ・ベーシック科目（8単位）では、講義形式によって現代の経済・経営課題を分析するための基礎知識を修得します。
- ・コース科目（12単位）およびリサーチ・メソッド（2単位）、テーマ・サーベイ（2単位）では、講義形式に加え、ディスカッションや報告などのアクティブラーニング、調査などのフィールドワーク等、科目の特徴に応じた多様な授業形式によって、現代の リサーチ・メソッド経済・経営課題を分析するだけでなく、実践的な解を提示するための専門的知識を修得します。
- ・プロジェクト・スタディ（課題レポート）（6単位）では、指導教員や必要に応じて配置される指導教員とは専門分野の異なる副指導教員による指導の下で、経済・経営課題の分析や実践的な解の提示を含む総合的・学際的な視点から研究できる能力を身に付けます。



Students Voice



明松 精一
Akematsu Seiichi

私は本大学院の2年生（1957年生まれ）です。今でも周りの人たちから、「なぜその歳で大学院に行くの？」と聞かれますが、「身につけた知識と積み上げてきた経験を、本気でブラッシュアップしたいから」と応えています。本大学院ではアクティブラーニングなど学びを楽しくするシステムも多数あり、多くのことを学びました。そしてその全てが斬新で、実社会でフル活用しています。ちなみに私は、大学院に入るまで高卒でした。いずれは就職する若い皆さん、「どこに就職できるかではなく、就職してから何ができるかで、人生は大きく変わります」。今、大きなチャンスが目の前にあります。是非、本大学院で多くのことを吸収し、自信につなげてください。

● 時間割の例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1校時						
2校時						
3校時						テーマ・サーベイ
4校時						
5校時						
6校時		企業論	経営戦略	経営組織		
7校時	アジア・ビジネス・マネジメント	財務会計		経営情報		

特徴・概要

●カリキュラム・ポリシー

経営学修士コースでは、経営にかかる基礎知識を修得するベーシック科目、問題解決に資する専門的知識を身につけるコース科目、問題の設定から課題レポートのとりまとめまでを行う演習を設置して、各々の問題意識に応じた問題解決にかかる検討を遂行できるカリキュラムを編成しています。

●学位審査基準

経営学修士コースの学位論文の審査は、課題レポートによって行う。課題レポートは、必ずしも論文としての総合性を要求するものではなく、次のような個別的なテーマについての報告又はレビューでもかまいません。

- ・計量技術による統計分析（アンケート分析など）
- ・企業などの事例研究（会社事例など）
- ・職場における課題研究（問題解決など）
- ・文献研究（文献や仮説のサーベイなど）

博士前期課程 カリキュラム

長期履修制度

本研究科では、研究コース・経営学修士コースともに標準修業年限（2年）での修学が困難な事情にある者（①職業を有し、就業している者 ②家事、育児、介護等に従事している者 ③障害のある者）については、標準修業年限の2倍（4年間）までの長期履修を申請することができる制度を設けています。

この申請が許可されると、標準修業年限に納付すべき授業料（2年間分）で認定された履修期間在学することができます。

夜間・土曜日開講

経営学修士コースでは、夜間開講と土曜日開講を実施しています。また、修了に必要な単位をこれらの開講科目でカバーできるようにカリキュラムが編成されていますので、平日勤務しながらでも時間的に余裕をもって受講し、課題に取り組むことができます。



1. 研究コース

基礎講義科目

マクロ経済学
ミクロ経済学
データ・アナリシス
統計学
経営学
会計学

特化講義科目

経済系

公共政策特講
世界経済論特講
地域経済特講
開発経済学特講
国際経済政策特講
経済政策特講
国際経済学特講
労働経済学特講
応用ミクロ経済学特講
経済史特講
財政学特講
理論経済学特講Ⅰ
理論経済学特講Ⅱ
応用統計学特講
公共経済学特講
計量経済学特講
応用数理特講
ゲーム理論特講
経営学原理特講
企業管理特講
人的資源管理特講

経営系

経営系

経営組織論特講
経営戦略論特講
マーケティング特講
企業論特講
経営史特講
経営情報分析特講
数理計画法特講
最適化モデル分析特講

特化講義科目

金融

●会計 ●財務系

コミュニケーション ●法律系

金融システム特講
金融論特講Ⅰ
金融論特講Ⅱ
国際金融論特講
保険学特講
現代ポートフォリオ理論特講
財務会計特講
原価計算特講
現代会計特講
会計制度特講
管理会計特講
日本・アジア国際関係特講
異文化コミュニケーション特講
比較公法特講
経済法特講
租税法特講
民法特講
会社法特講

2. 経営学修士コース

ベーシック科目

経営学
会計学
データ・アナリシス
経済学
取引法

コース科目

経営戦略
経営組織
マーケティング
企業論
人的資源管理
経営情報

コース科目

会社法
財務会計
管理会計
コスト・マネジメント
国際会計
現代ポートフォリオ
金融システム
国際ナショナル・ファイナンス
保険学
アジア市場分析
アジア・ビジネス・マネジメント

博士後期課程

博士後期課程では、トップマネジメントをはじめとするリーダーに必要な意思決定能力を授けることにより、十分に研究能力を有する高度専門職業人を育成します。



カリキュラム

- 講義科目は、2つの研究分野（意思決定基礎、意思決定応用）に従って区分し、学生の研究テーマに応じて、意思決定に不可欠な知識を補うために必要な科目を設置する。

教員紹介
経済学の
踊り場



資質等	科目等	講義科目	必修／選択	単位数	最低修得単位数
意思決定基礎	意思決定の基礎となるマネジメントの基本的知識および合理的な意思決定に関する理論とそれを可能にする方法論を探究し、意思決定能力の養成を図る。	トップマネジメント特論	選択	各2	0
		企業行動原理特論			
		ゲーム理論特論			
		数理計画法特論			
		決定分析特論			
		経営情報分析特論			
意思決定応用	企業、自治体、NPO・NGOなどの意思決定主体の環境に関する必要な情報の収集とその分析・整理を行い、解決策を探究することにより意思決定能力の養成を図る。	経済・経営史特論	選択	各2	0
		人的資源管理特論			
		会計学特論			
		企業ファイナンス特論			
		金融システム特論			
		国際金融論特論			
		国際経済学特論			
		現代世界経済特論			
		開発経済学特論			
		労働経済学特論			
		公共経済学特論			
		ビジネス法特論			
		国際関係論特論			

- 「演習」は、論文作成過程に沿って3つの段階（テーマサーベイ、リサーチ演習、特別演習）に分け、学生の研究テーマに応じて複数教員（指導教員および副指導教員）を配置する。

	内 容	必修／選択	単位数	最低修得単位数
テーマサーベイ	研究テーマの具体化のために、先行研究および参考文献、参考資料、データなどを収集し、研究テーマに関連する理論、研究方針や方法ならびに手順など総括的な観点からサーベイを行う。	必修	4	4
リサーチ演習	研究テーマについて、参考文献、参考資料、データなどにより、フィールドワークを含む調査研究を行う。また、必要に応じて研究テーマに沿った領域について実務経験のある関連領域アドバイザーを起用した指導体制を採用する。	必修	6	6
特別演習	テーマサーベイ、リサーチ演習の成果等に基づき、研究テーマに即した解決策の探究に基づく学位論文を作成する。論文の作成過程においては綿密な経過管理を行う。	必修	6	6

特徴・概要

●教育理念

合理的で迅速な意思決定能力を身に着けた、トップマネジメントに代表される組織のリーダー、あるいはその候補者などの育成をその目的とする。

●教育研究上の目的

トップマネジメントをはじめとする組織のリーダーに必要な意思決定能力を授けることにより、十分に研究能力を有する高度専門職業人を育成し、経済社会の発展に資することを目的とする。



熊 浩輔

Kuma Kousuke

Students Voice

博士後期課程2年の熊（1956年生まれ）です。私自身の経験を基に、学術的背景のない社会人が大学院に挑戦し修了する可能性についてお伝えします。私は長崎市で高齢者住宅を中心とした街作り事業を経営し、60代で学問の道に再挑戦しました。学術的探究を深めるこの経験が、実務に応用できると確信しています。

大学院では、研究テーマを自らの業務経験などから選び、独自性を追求することが重要です。仕事と学業の両立、専門科目の単位取得、論文作成に至るまで、指導教員や先輩からのサポートが充実しており、学び直しに年齢は関係ありません。

私たちのキャンパスは、学ぶことの必要性を世に発信し続けるための貴重な場所です。新たな意識改革や革新の指針を見出し、自身の視点を広げるチャンスです。皆さんの勇気ある一歩を心からお待ちしています。

博士後期課程

長期履修制度の実施

本研究科では、標準修業年限（3年）での修学が困難な事情にある者（①職業を有し、就業している者 ②家事、育児、介護等に従事している者 ③障害のある者）については、標準修業年限の2倍（6年間）までの長期履修を申請することができる制度を設けています。

この申請が許可されると、標準修業年限に納付すべき授業料（3年間分）で認定された履修期間在学することができます。

土曜日開講

講義や演習等はすべて土曜日に行われますので、遠隔地からの通学が容易になっています。



入試情報

博士前期課程

入試の実施時期は9月。

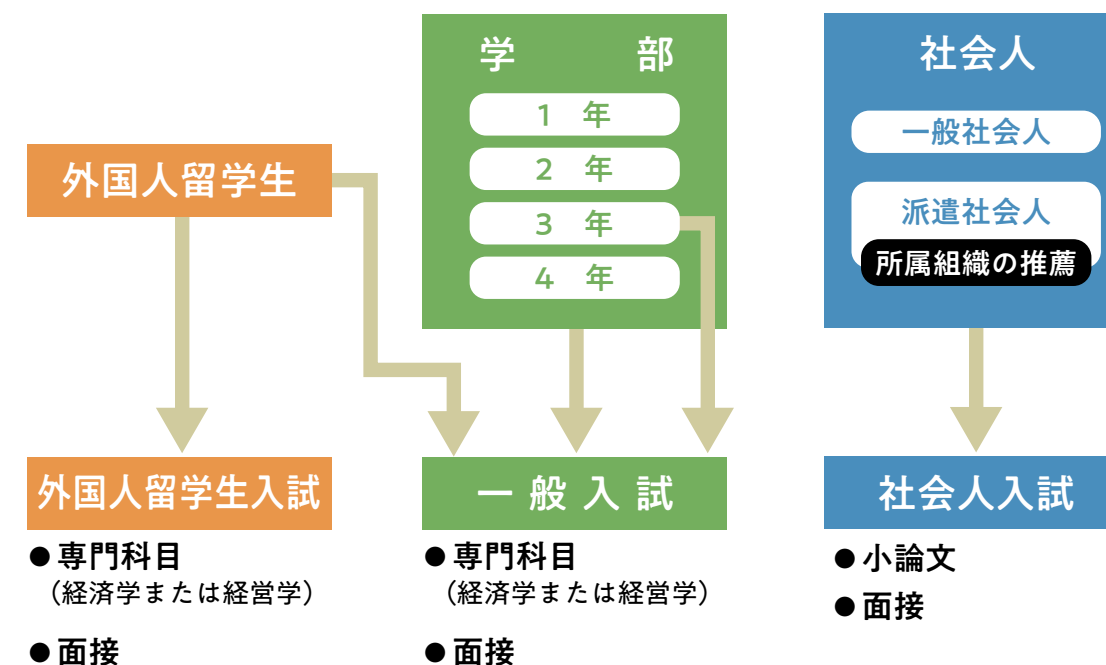
状況により2次募集を実施するため、右記博士前期課程入試QRコードより情報を確認してください。



入試の情報はここから



博士前期課程入試情報



博士後期課程

入試の実施時期は2月。

状況により2次募集を実施するため、下記博士後期課程入試QRコードより情報を確認してください。

それぞれの入試科目は以下のとおりです。

一般社会人	派遣社会人	外国人留学生	進学者選考
●小論文 ●面接	●面接	●小論文 ●面接	●面接



入試の情報はここから



博士後期課程入試情報



年間スケジュール

博士前期

4	5	6	7	8	9
●第1セメスター開始 ●入学式 ●入学者オリエンテーション ●第1セメスター授業開始 ●健康診断	●開学記念日 ●テーマ報告会	●進学説明会	●中間報告会	●第1セメスター定期試験 ●第1セメスター授業終了	●第2セメスター授業開始
10	11	12	1	2	3
	●進学説明会 ●最終報告会		●修士論文・課題レポート提出 ●学位審査	●第2セメスター定期試験 ●第2セメスター授業終了	●学位記授与式 ●学生表彰式

博士後期

4	5	6	7	8	9
●第1セメスター開始 ●入学式 ●入学者オリエンテーション ●第1セメスター授業開始 ●健康診断	●開学記念日	●進学説明会 ●博士論文中間報告会		●第1セメスター定期試験 ●第1セメスター授業終了	●第2セメスター授業開始
10	11	12	1	2	3
	●進学説明会 ●予備論文審査	●特別演習中間報告会	●テーマサーベイ報告会 ●学位審査	●第2セメスター定期試験 ●第2セメスター授業終了	●学位記授与式 ●学生表彰式



Message

先輩からのメッセージ

挑戦と進化

経営コンサルタントとして経験を積み、より、学問的な知識を得るために長崎大学大学院に入学しました。長崎大学大学院では、ビジネス管理に関するさまざまな分野で幅広い知識とスキルを身につける機会が提供されており、社会人として学び直すには役立つコースになっていました。私自身学び直せた事項は次の点です。

1. 戦略的マネジメント
2. 組織行動学
3. マーケティング
4. 財務管理
5. 経営戦略

実務で常に行っていましたが、改めて学問的に学び直す機会を得ることにより経営コンサルタントとして、より顧客満足度の高いサービスを提供できるようになると思います。

また、仕事と大学院での研究を両立させるには、時間管理や計画立て、効率的な学習方法の確立などが必要です。社会人として学び直すには、時間管理ができる職域になってからがいいでしょう。両立させる上で私が留意した事項は次の点です。

学び直すことで
得た価値と成果



仕事と学びを
両立させ

1. スケジュールの調整：仕事と大学院の授業や研究活動のスケジュールを把握し、効率的に両方を調整します。

2. 優先順位の設定：仕事と大学院の両方において、優先すべきタスクを設定し、時間を割り当てます。重要度や締め切りに基づいて優先順位を決定します。

3. 効率的な学習法の採用：学習時間を最大限に活用するために、効率的な学習法を採用します。例えば、メモを取る、要約を作成する、実務上用いている様々な手法を適宜活用します。

4. バランスの取り方：仕事と学業の両方に十分な時間を割り当てるだけでなく、リラックスや趣味に時間を取ることも大切です。バランスを保ちつつ、ストレスを軽減し、モチベーションを維持します。

5. 柔軟性の確保：スケジュールや計画に変更が生じた場合に柔軟に対応し、必要に応じて調整します。時には妥協が必要な場合もありますが、焦らずに前進します。

仕事と大学院の両立は挑戦的な事柄ですが、適切な計画と努力によって実現可能です。その結果得られた学びは、非常に大きいものがありました。

令和5年3月博士前期課程修了
博士後期課程在籍中
経営コンサルタント

高濱 有志
Takahama Yushi

能力に投資

オーケストラの複数項目からなる実績データに適用した、新たな定量的な評価方法を提案することができました。そして、修了後も、業務と関連して、この研究の次の展開を検討中です。

博士論文の執筆過程には、①あるテーマに関する先行研究や現在進行中の事象を網羅的かつ確実に把握し、②それに基づいて自身の研究テーマを確立

し、③仮定を立て、分析方法を決定して検証し、考察して、④最終的に新規性・独創性・検証可能性等を伴った理論を発表する、という大きな流れがあります。博士課程は、この一連の過程を通して、各研究分野で研究者として独り立ちする知識・技能を身につける場です。ただ同時に、ここで培った能力は、実社会でもとても役立つものです。個人的には、多様な情報を収集し、選択し、整理して、編集する

能力が以前と比べ向上し、日々の業務が効率化され、総じて自分が楽になった（←ココが重要！）気がします。研究者を目指す方はもちろん、ビジネスの世界でご活躍の方々にも、この体験はおススメです。ぜひご検討ください。

博士課程に入学して修了するまでには、時間も、手間も、お金もかかります。特に、働きながら通う際は、日々のやりくりにも、ちょっと工夫が必要です。ただ、様々な苦勞を投資した以上のリターンが、自身の能力として返ってくることは実感できると思います。

私は、主にクラシック音楽業界をフィールドとしながら、アートマネジメントや文化経営学の専門家として、主に公共文化事業等に従事しています。公共文化事業の現場では、アーティストのみならず、行政や企業、市民など、多様なステークホルダーとの折衝が日常的に行われます。加えて、公的資金を投入するため、その都度、成果を各ステークホルダーに説明する必要があります。博士課程を受験するにあたり、私が抱えていた課題は、文化芸術という、定性的には一定程度説明（評価）できても、定量的に

評価し難い分野について、各方面にどのような成果の示し方があり得るのか？また、定量的に評価し得るとすると、どのような方法を通じて実態に即した評価が可能なのか？というものでした。そして、運よく数学がご専門の先生にお声掛けいただき、データ包絡分析法（DEA：Data Envelopment Analysis）を、



実社会でも
とても役立つもの

培った能力は
研究者はもちろん

令和4年3月博士後期課程修了
長崎県文化団体協議会

新井 友梨
Arai Yuri

研究環境

大学院生研究室

院生研究室には、各自個人用デスクの他、会議テーブルを配置して常時グループ・ディスカッションが可能なスペースが確保されており、快適な研究環境が提供されています。



大学院生研究室

附属図書館

本学文教キャンパスに中央図書館、片淵キャンパスに経済学部分館があり、海外文献、貴重書を含め、充実した蔵書数を誇っています。また、社会人学生に配慮して、経済学部分館の平日の開館時間は21：45までとなっています。



図書館閲覧室

蔵書数（経済学部分館） 令和5年4月1日現在

図 書 数（冊）		
和漢書	洋 書	計
195,176	83,871	279,047

雑 誌 の 種 類		
和 文	欧 文	計
3,948	1,179	5,127

開館日（経済学部分館）

月～金曜日（休業期を除く）	8:30～21:45
* 休業期間等	8:30～17:00
土曜・日曜・祝日	12:00～18:00

休館日（経済学部分館）

夏季一斉休業、年末年始

入学料・授業料（令和5年度）

入学時に必要な経費は以下のとおりです。

入学料 282,000円

授業料 267,900円

（年額535,800円のうちの前期分）

奨学生

人物・学業がともに優秀かつ健康であって、経済的理由のため修学が困難であると認められる者に対して、選考の上、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金が貸与される制度があります。ただし、所得の限度額を超えている者や勤務先から派遣されて、大学院に在学する者等については対象外となっています。

* 奨学金制度の詳細については、独立行政法人日本学生支援機構等各種奨学金の募集要領を参照してください。

所在地および交通案内



Access

JR 長崎駅からの交通

県営バス 「長崎駅前東口」から乗車 行先：「循環」「立山・浜平」「西山木場」行きで「**経済学部前**」下車すぐ

路面電車 「長崎駅前」から乗車 行先：「蛸茶屋」行きで「**諏訪神社**」又は「**新大工町**」下車 徒歩約10分

タクシー JR長崎駅前から約10分



Graduate
School of
Economics



*Nagasaki
University*

教員紹介

経済学の
踊り場



長崎大学大学院経済学研究科

〒850-8506 長崎市片瀬4丁目2-1

TEL (095) 820-6325 FAX (095) 820-6390

<http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp>

